

第3期岩倉市地域福祉計画 令和7年度進捗評価シート

基本目標	3 包括的な支援に向けた体制づくり
施策	(3) 重層的支援体制の整備に向けた検討

<現状と課題>

・「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」において重層的支援体制整備事業が創設され、令和3年4月に施行されました。
・重層的支援体制整備事業とは、既存の介護、障がい、子ども、生活困窮の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民やその他の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、属性問わない相談支援、多様な社会参加に向けた支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するものです。
・重層的支援体制整備事業は市町村の任意事業ですが、様々な状況にある市民の地域生活課題を解決していくこと、困難を抱える人や制度の狭間の問題を持つ人・世帯への支援を行っていくためには欠かすことができないものと言えます。
・本市においても、縦割りではない支援、包括的な支援体制を構築し、「地域共生社会」を実現していくため、重層的支援体制整備事業をスムーズに実施するための連携強化や体制整備が必要です。

単位施策:27 総合相談に関する方向性										
・8050 問題、ヤングケアラー、ひきこもり等の多様で複合的な課題や制度の狭間の問題を抱える人を包括的に受け止め、必要な支援につなげるため、市と社会福祉協議会、関係機関等が連携し、包括的な相談支援体制の構築に向けた検討を進めます。令和6年度の開始をめざし、専門職による相談対応ができる包括的相談支援体制を構築します。また、対応に関わる関係者間の連携の円滑化を図るため、令和3年度から実施している「断らない相談情報共有会議」の機能を発展させるかたちで、多機関協働の体制を整備します。さらに、専門的・継続的に相談や地域づくり、参加支援等を実施するため、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置や既存の生活支援コーディネーターの役割の整理について検討を進めます。										
成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
包括的相談支援・多機関協働事業の実施	未実施	未実施	実施	実施				実施	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、包括的相談支援と多機関協働も実施している。	福祉課
事業								取組内容及び成果		課題及び今後の方向性
●包括的相談支援事業	福祉課、長寿介護課、健康課、こども家庭課、学校教育課、社会福祉協議会							基本目標3包括的な支援に向けた体制づくり (2)総合相談体制の整備の再掲		
●多機関協働事業										
●その他										

単位施策:28 参加支援に関する方向性										
・制度の狭間の問題や、多様で複合的な課題を抱える人が、社会とのつながりをつくることで課題の解決に結びつけられるような支援ができる体制を整備します。様々なニーズや希望、状況等に対応できるよう、地域の資源を活用したコーディネートやマッチングによる参加支援の方法を検討します。										
成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		

参加支援事業の実施	未実施	未実施	実施	実施				実施	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、参加支援事業も実施している。今後実績を作るための取組が必要となる。	福祉課	
事業								取組内容及び成果		課題及び今後の方向性	
●参加支援事業		福祉課、長寿介護課、こども家庭課、社会福祉協議会						令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、参加支援事業の運用を開始した。令和7年度は本事業による本格的な伴走支援を要する対象者はいなかったものの、社会とのつながりを求める相談者に対しては、「あみーご」や高齢者サロン等の既存の社会資源（居場所）への案内・マッチングを行った。 また、今後の参加支援に向けた準備として、生活支援コーディネーター等とも連携し、地域アセスメントによる社会資源の把握・整理に努めた。		把握した多様な社会資源を、社会参加を支援するための「受け皿」としてどのように活用していくかが課題である。今後は、市民活動団体や生涯学習サークル、各種ボランティア活動などを地域の受け皿として位置づけ、具体的な活用方法を検討・研究していく。 引き続き、社会とのつながりを求める対象者を適切な支援や居場所へ確実に繋ぐための体制構築を進める。	
●その他											
単位施策：29 地域づくりに関する方向性											
・様々な地域単位で「地域つながりづくり会議」を開催し、活動者同士の情報交換を通じて地域福祉の意識づくり、人材育成、団体活動の活性化を図ります。段階的に、地域ケア会議等の他の会議体や組織等とも連携しながら、住民主体の地域福祉活動を促進するためのプラットフォームとしての機能を強化していきます。【P47「地域づくり支援・参加支援」の再掲】											
成果指標		現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
		R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
「地域つながりづくり会議」の実施		未実施	未実施	未実施	未実施				実施	地域つながりづくり会議のキックオフフォーラムとして地域つながり講演会を実施した。	社会福祉協議会 福祉課
事業								取組内容及び成果		課題及び今後の方向性	
●地域づくり事業		福祉課、長寿介護課、こども家庭課、社会福祉協議会						地域福祉計画の市民への周知・啓発を目的とした「地域つながり講演会」を開催し、33 人の参加があった。また、多世代の交流基盤となる「地域つながりカフェ」を計 4 回(延べ 59 人)、「地域つながりカフェ+」を 1 回(32 人)開催した。これらを通じて活動者同士の情報交換が活発化し、地域福祉に対する意識醸成とネットワーク構築が進むなど、今後の連携に向けた有意義なステップとなった。さらに、これらと並行して地域アセスメント(人口・高齢化率・社会資源等)を活用し、地域課題の把握		今後は、これまでの取り組みや地域アセスメントの結果を発展させ、具体的な課題解決に向けた「地域つながりづくり会議」の開催へ繋げていく。併せて、住民一人ひとりが地域課題を身近な問題として捉え、主体的に関わることができるような仕掛けづくりを検討するとともに、地域ケア会議や未来寄合等の多様なプラットフォームとの効果的な連携を深め、市全体の重層的な地域づくりを推進する。	

										握に努めた。		
●その他												
単位施策:30 アウトリーチ等を通じた継続的支援に関する方向性												
・8050 問題、ヤングケアラー、ひきこもり等の多様で複合的な課題や制度の狭間の問題を抱える人等で、支援が届いていない人や自ら支援を求めることができない人等を早期に発見し、適切な支援につなげるため、伴走型支援やアウトリーチ型の訪問支援等、きめ細かな支援のあり方について検討を進めます。												
成果指標		現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当	
		R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11			
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施		未実施	未実施	実施	実施				実施	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業も実施し、ひきこもり家庭の訪問を中心に支援を行っている。	福祉課	
事業								取組内容及び成果		課題及び今後の方向性		
●アウトリーチ等を通じた継続的支援事業			福祉課、長寿介護課、健康課、こども家庭課、社会福祉協議会						自ら SOS を出せない世帯や潜在的な課題を抱える世帯に対し、関係機関と連携したアウトリーチ(訪問支援)を実施した。具体的には、家族等からの希望や緊急性が認められるケースに対する訪問支援を行ったほか、地域包括支援センターと連携し、介護認定のない高齢者世帯(80～85歳の 2 人世帯)や、医療・介護サービス未利用等の孤立リスクが懸念される後期高齢者への家庭訪問を実施し、生活実態の把握と適切な支援への接続に努めた。		本人や世帯が支援や面談を拒否しているケースでは、慎重な対応と継続的な関わりが必要となるため、関係機関や多職種と連携した効果的な支援方法を検討していくことが課題である。今後も引き続き訪問等を通じた実態把握に努めるとともに、ヤングケアラー等の潜在的な対象者に対する早期発見・支援体制の構築を進め、支援が必要な人を確実な支援へと繋げていく。	
●その他												
事務局評価		取組 2	指標 I	評価 A	評価理由		講演会や「地域つながりカフェ」等の開催を通じたネットワーク構築に加え、地域アセスメントによる課題把握など、多層的な実践が行われた。これらの活動を踏まえ、「地域つながりづくり会議」の実施については、中間見直しにおいて市の「未来寄合」等との連携へシフトする方向で検討が進められており、地域の実情に合わせた体制構築を目指す柔軟な姿勢が評価できる。					
推進委員評価		A			推進委員評価 判断理由・コメント		令和 6 年度からの重層的支援体制整備事業の円滑な開始を評価する。属性を問わない相談支援やアウトリーチが実践されており、「地域つながりカフェ(4 回、59 人参加)」や「つながりカフェ+(32 人参加)」を通じた多世代・多様な分野が関わる地域づくりが進んでいる。今後は、これらの実践を基盤としつつ、多様なプラットフォームとの効果的な連携をさらに深め、市全体の重層的な地域づくりが推進されることを期待する。					